

【記載例】

別記様式第3号

薩摩川内市地域おこし協力隊受入候補団体等事業提案書

団体等名 企画政策課

1. 募集テーマ (企画名)	まちの人の言葉を記事にして、薩摩川内の暮らし・仕事・挑戦を届ける「ローカルライター育成プロジェクト」
2. 活動範囲	活動範囲：薩摩川内市全域 連携団体：薩摩川内市、地区コミュニティ協議会、商工・観光関係団体、地元事業者、農漁業者、学校・高校、移住定住支援関係者
3. 活動範囲の概要	①人口、高齢化率 活動範囲 人口 約 90,000 人 高齢化率 約 33% ※市全域を対象とし、各地区の暮らし、仕事、文化、人の魅力を取材・発信する。 ②自然条件や歴史・文化、社会・経済的条件など 薩摩川内市は、川内川、山間部、温泉地、中心市街地、甕島など多様な地域性を持つ。川内大綱引をはじめとする歴史文化、農水産物、ものづくり、地域行事、暮らしの知恵など、外から見ると魅力的な物語が数多くある。一方で、地域の担い手不足や人口減少により、活動を続ける人たちの思いや価値が十分に可視化されていない。
4. 現状と課題	市内には、地域で挑戦する事業者、活動を支える自治会・コミュニティ、伝統を守る人、移住して新しい暮らしを始めた人など、多様な「伝えたい人」がいる。 しかし、日常のストーリーや人柄、仕事の背景まで継続的に伝える体制が不足している。課題は次のとおり。 ・地域の魅力が断片的に発信され、移住希望者や若者に届きにくい。 ・地区ごとの活動や小さな挑戦を取材し、読み物として編集できる人材が不足している。 ・地域の人が自ら発信するための文章、写真、SNS 活用の学び場が少ない。 ・団体、事業者、行政、住民をつなぐ「編集者」の役割が地域内に定着していない。
5. 隊員と行う 具体的な活動・事業内容	【1年目：聞く・書く・届ける】 ・各地区を巡り、住民、事業者、移住者、若者等への聞き取りを行う。 ・月2本程度の記事を作成し、市内の暮らし、仕事、地域活動、食、自然、文化を発信する。 ・写真撮影、インタビュー、記事構成、SNS 投稿の基本を実践しながら身につける。 ・「地域の話を書く会」を開催し、記事の種を住民と一緒に集める。 【2年目：仲間を増やす・編集する】 ・市民ライター講座を開催し、各地区に発信の仲間を育てる。 ・移住希望者向けの暮らし記事、仕事紹介記事、地域イベントレポートをシリーズ化する。 ・高校生や若手社会人と連携し、地域を取材するワークショップを実施する。 ・記事を冊子、Web、SNS、動画等へ展開し、届け方を広げる。

	【3年目：仕組みにする・仕事にする】 ・ローカルメディアの運営ルール、編集カレンダー、取材依頼フローを整える。 ・地域事業者の PR 記事、採用広報、商品ストーリー作成等を通じ、任期後の仕事化を検討する。 ・市民ライター、団体、行政が連携して発信を継続できる編集体制を構築する。
6. 隊員受け入れの必要性	地域の魅力は「人の言葉」や「暮らしの実感」に宿るが、地域側だけでは継続的に取材、編集、発信する時間と人材が不足している。隊員を受け入れることで、外部視点を持つローカルライターが地域を丁寧に歩き、住民の思いを言語化し、市内外へ届けることができる。これにより、移住希望者が暮らしを想像しやすくなり、地域活動への参加者や応援者を増やすことにつながる。さらに、情報発信を地域の仕事として育てることで、任期後の定住・起業・就業にもつながる。
7. 隊員の役割や活動内容、求める人物像等	役割：ローカルライター、地域編集者、情報発信コーディネーター 主な活動：インタビュー、記事作成、写真撮影、SNS 運用、取材先調整、編集会議運営、市民ライター講座、冊子・Web コンテンツ制作、移住・観光・地域活動に関する発信支援 求める人物像： ・人の話を丁寧に聞き、相手の思いを尊重して文章にできる方 ・文章を書くこと、写真を撮ること、地域を歩くことが好きな方 ・SNS、Web、動画、デザインなど情報発信に関心がある方 ・地域住民、事業者、行政との調整を前向きに楽しめる方 ・普通自動車運転免許を有する方、または着任までに取得予定の方 ・ライター、編集、広報、PR、出版、観光、移住支援等の経験があれば歓迎。未経験でも学ぶ意欲を重視する。
8. 隊員の支援体制	●隊員の生活や活動について中心的に支援してくれる方 氏名：川内 太郎 役職：企画政策課職員 支援内容：週 1 回の定例面談、記事テーマの相談、行政・地域団体との調整、活動計画作成、生活情報の提供を行う。記事の確認、取材時の安全面も配慮等しながら支援する。
9. 隊員とともに目指す団体等の目標	・3年間で地域記事 100 本、取材先 100 件、市民ライター20名の参加を目指す。 ・各地区から継続的に記事の種が集まる編集会議を月 1 回開催する。 ・移住希望者が暮らしを具体的に想像できる「人・仕事・住まい・地域活動」の記事シリーズを整備する。 ・任期終了時には、地域主体で更新できるローカルメディア運営体制と編集マニュアルを整える。
10. 隊員の任期満了後の定住・定着のための支援体制	・任期 2 年目から、フリーライター、広報支援、地域メディア運営、団体職員化、地元企業への就業など、本人の希望に応じた進路を整理する。 ・市内事業者の PR 記事、採用広報、商品紹介、イベントレポート、SNS 運用支援等の業務化を支援する。 ・住まい、地域行事、自治会、子育て、移住者コミュニティへの参加を支援し、暮らしの定着を後押しする。

11. その他	この活動に関わることで、隊員はインタビュー、文章作成、写真撮影、編集、SNS 運用、Web メディア運営、広報戦略、地域コーディネート、ファシリテーション、個人情報・著作権への配慮など、地域で働くための実践的なスキルを得られる。地域の人の言葉を預かり、未来の仲間へ届ける役割を担うため、文章力だけでなく、信頼関係づくりや地域の理解を深める活動である。
----------------	--

※必要に応じて、事業内容の詳細のわかる資料を添付してください。また、適宜、行の高さを変更するなどしてください。